



# 布水だより

No. 14

令和7年3月17日  
布水中学校  
校長 若狭朋幸

## 令和6年度「後期 学校評価アンケート（結果）」と「学校運営協議会（助言）」

生徒・保護者の皆様には、Google フォームによるアンケートにご回答いただきありがとうございました。アンケート結果および分析を、学校運営協議会（コミュニティスクール）に諮り、結果や分析についてのご意見、改善に向けてのご助言を頂戴しました。これらの結果、ご意見・ご助言を令和7年度の教育活動の改善と具体的な取組の立案・実行に活かしてまいります。

アンケートの回答…①あてはまる ②どちらかというとあてはまる ③どちらかというとあてはまらない  
④あてはまらない ⑤わからない（※⑤は保護者アンケートのみ）

各 符 号 … ◎ {各重点の目標} · {学校運営協議会助言等} ☆ {改善策(次年度に向けて)}

### (1) 確かな学力の定着

◎学習指導要領の趣旨に沿い、生徒が学びの広がりや深まりを実感し、自己の変容を自覚できる授業を実践する。

教員『わかる授業、達成感のある授業となるように努めた』(①+②)

R6.7月 : 98% R6.12月 : 95% A:95%以上 B:90%以上 C:80%以上 D:80%未満

生徒『学校の授業がわかる』(①+②)

R6.7月 : 90% R6.12月 : 86% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『お子さんは、授業がわかりやすいと言っている』(①+②) ※「⑤わからない」16%

R6.7月 : 59% R5.12月 : 58% A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満

### [学校運営協議会]

- ・親子や家族で話す機会が減っているのも、保護者の評価が低い一因であろう。授業について話ができる共通の話題があるといいのではないか。

- ・生徒に「何か分からないのか？」と問いかけてみてはどうか。「〇〇が分からない」と明確に言えることもあれば、「教科書に書いてあることが分からない、先生が話していることが分からない」など様々な状況があるかもしれない。

☆ICT を効果的に活用し、生徒の理解度に応じた問題やヒントを準備するなど、どの生徒にも分かる・達成感のある授業を目指し、個別最適な学びの充実を図ります。

☆保護者が実際に授業を参観できる機会を確保し、呼びかけを継続していきます。

### (2) 豊かな心の育成

◎生徒が自らの良さや成長を実感できるよう、取組の目的・目標を明確にし、質を向上させる。

教員『いじめに対する未然防止の指導や事後指導を丁寧に行った』(①+②)

R6.7月 : 98% R6.12月 : 100% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

生徒『学校はいじめを許さず、いじめの解決に向けて対応してくれる』(①+②)

R6.7月 : 92% R6.12月 : 91% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『学校はいじめの未然防止や早期発見、適切な対応に努めている』(①+②) ※「⑤わからない」41%

R6.7月 : 40% R6.12月 : 50% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

教員『学校行事や生徒会活動が生徒の主体的活動になるよう指導した』(①+②)

R6.7月 : 88% R6.12月 : 92% A:85%以上 B:75%以上 C:65%以上 D:65%未満

生徒『学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる』(①+②)

R6.7月 : 90% R6.12月 : 86% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

生徒『自分は学校の一員だと感じている』(①+②)

R6.7月 : 94% R6.12月 : 92% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『お子さんは学校行事や生徒会活動に取り組んでいる』(①+②) ※「⑤わからない」10%

R6.7月 : 83% R6.12月 : 87% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

## [学校運営協議会]

- ・「ノーネット、ノーゲーム、ノーテレビデー」の取組ばかりが先行し、本来の目的「親子の会話を増やす」が薄れているのではないか。「親子の会話を増やそう」と直接伝えることも大切だろう。
- ・子供だけに呼びかけるのではなく、家族での取組になると効果が出るのではないか。現状では、保護者自身が「ノーネット、ノーゲーム、ノーテレビデー」になっていないと予想される。

☆SNSについて企業から講師を招いての講演会や警察など関係機関との連携をより強め、いじめの未然防止の取組を強化します。また、その取組が保護者に伝わるようにテトルやHPを活用し、発信していきます。

☆生徒会を中心に、生徒の意見を紹介し、学校をより良くするための取組を進めます。その様子を生徒にも知らせていくことで、学校の特別活動参加への意識が高まるようにします。

## (3)健全な体の育成

- ◎生徒が自己の健康と安全への意識と実践力を高めることができるようになります。

教員『部活動に係る活動方針に従って活動している』(①のみ)

R6.7月:72% R6.12月:74% A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満

生徒『部活動に積極的に取り組んでいる』(①+②)

R6.7月:91% R6.12月:89% A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満

## [学校運営協議会]

- ・保護者の部活動への思いを共有しながら、地域展開(移行)に向けて進めていく必要がある。

☆新年度初めには、生徒・保護者へ、「部活動に係る活動方針」等の積極的な周知の場を設けます。

## (4)持続可能な学校教育の体制づくり

- ◎安全安心で愛情あふれる学びがいのある学校づくり、働きがいのある学校づくりを進める。

教員『保護者との連携について意識的に取り組んだ』(①+②)

R6.7月:100% R6.12月:95% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

教員『本校の業務改善は進んでいる』(①+②)

R6.7月:83% R6.12月:90% A:90%以上 B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満

教員『時間外勤務時間』(月平均時間)

R6.9月B(56h)、10月B(58h)、11月B(50h)、12月A(37h) ⇒ 9~12月平均 B(50h)

A:45h以下 B:60h以下 C:70h以下 D:70hより多い

## [学校運営協議会]

- ・休日の部活動も含めた業務改善に向けて、学校だけでなく、教育委員会と連携して進める必要がある。

☆年度始めや学期末などの繁忙期には、計画的に授業時数を調整し、業務時間確保に努めるとともに、年間を通して標準授業時数を大きく超えないように、見通しをもって時間割を組んでいきます。また、年度末には、次年度への引継ぎが漏れなく行われるよう職員への周知を徹底します。

## ◆[自由記述欄]について

アンケートの『自由記述欄』には、50件の記述をいただき、ありがとうございました。ご意見、疑問に思われたこと、感謝のお言葉など様々でした。改善策(☆)を通して全てに回答できませんでしたが、いただいたご意見等は、より良い学校づくりのための参考とさせていただきます。

子どもたちのよりよい成長のための相談事などございましたら遠慮なくご連絡ください。今後とも、本校の教育活動に、ご理解・ご協力をお願いいたします。

布水中学校のホームページにも学校生活のようすを随時記載していますので、ぜひご覧ください。  
学校への質問やご意見などがございましたら下記へどうぞ。

連絡先 076-248-0039 (担当 教頭 南・主幹 東方)  
メール [fusuityul@ed.city.nonoichi-ishikawa.jp](mailto:fusuityul@ed.city.nonoichi-ishikawa.jp)